

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

回答率65% (28人/43人)

公表日: 令和6年 3月 1日

事業所名: リハビリ発達支援ルームUTキッズplus

サービス種類: 児童発達支援

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	一人ひとり安心して活動できるスペースを確保し支援を行っています。	はい 25人	どちらとも言えない 0人	いいえ 0人	わからない 0人	<p>のびのび活動していると思います。複数の子供が違うことをする場合は、パーティション等で区切って入らないようにしてもらいたい。机の大きさがあってないです。</p> <p>⇒粗大運動を十分に楽しんでもらえるよう広いスペースを用意しています。また場所の交渉などやり取りや他者を意識して遊びができるよう仕切りを設けない設定にしています。作業課題などを行う場合は、別室やお一人での空き枠を利用していただくようにしています。</p> <p>集団療育では、大人用のテーブルになるため、椅子で高さを工夫しています。イベントでは、様々な高さの机を使用するため、参加されるお子様に合わせて環境設定ができるよう改善していきます。</p>
	2 職員の適切な配置	配置基準に従い、職員配置を行っています。	はい 23人	どちらとも言えない 2人	いいえ 0人	わからない 0人	<p>強いて言えばもっとST.OTといった専門職をふやしてほしい。スタッフの人数も十分で、毎回どんな活動をしてそれが何のためのトレーニングなのか的確に教えてくれる子供の特性考えて対応してくれています。</p> <p>⇒事業所内外研修へ積極的に参加し、職員のスキルアップを強化していきます。</p>
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	療育室内は段差がありませんが、療育室まで階段を登って来ていただかないとならない構造になっています。	はい 21人	どちらとも言えない 4人	いいえ 0人	わからない 0人	<p>トイレ、手洗い場、荷物置き場、療育空間を分けていてわかりやすいと思います。安全で本人ものびのび活動でき、明るい雰囲気。やや雑多な印象がある。</p> <p>⇒遊具や玩具の配置替えや整理整頓を行い、斉一した環境設定が行えるよう努めていきます。</p>
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	活動に合わせて、利用児自身が設定できるよう広い空間を用意しています。療育室や遊具が玩具、教材は都度消毒を行い、清潔に使用できるよう心掛けています。	はい 23人	どちらとも言えない 2人	いいえ 0人	わからない 0人	<p>とても清潔に保たれ、雰囲気も明るく、本人も気持ちよく過ごせています。アルコールや換気など丁寧にいただいております中の環境がどういものか詳細を把握していないため。</p> <p>⇒引きつづき、活動に合わせて清潔で心地よく過ごすことができる環境づくりを行っていきます。</p>
1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	PDCAサイクル研修を行っています。利用児聞き取りシートを基にPDCAサイクル法を活用し問題解決や業務遂行に取り組んでいます。					

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
業務改善	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現在実施しておりません。					
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	会社、キッズ事業部内での研修が定期的に開催されています。事業所内研修は不定期ではありますが開催しています。外部研修費補助制度があります。					
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	相談支援員との連携、サービス等利用計画の内容を把握し、家庭や学校の様子など保護者様にお聞きし、個別支援計画書の作成を行っています。	はい 24人	どちらとも言えない 1人	いいえ 0人	わからない 0人	<p>活動内容と今の本人の現状、どんなことを普段から気を付けて見ていくべきか、とてもわかりやすく毎回指導してくれます。</p> <p>細かい計画まで相談にのってもらっています。計画を立てるにあたって保護者が記入する用紙を事前に配布しておいてほしいです。もしくは次回記入する予定であることを知らせておいてほしいです。(少し時間をかけて考えたいため)</p> <p>⇒今後もお子様のニーズ、保護者様の願いをしっかりと踏まえた個別支援計画書の作成を行っていきます。聞き取りについては、ゆとりを持ってご記入いただけるよう、1カ月前にはお渡しできるように努めていきます。</p>
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	利用者ニーズに応じた個別、集団療育の組み合わせを行い、個別支援計画書の作成を行っています。					
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	主訴や保護者様の願いに基づき個々の支援に必要な項目を設定し、具体的な支援内容や遊び、ホームワークなどを記載しています。	はい 24人	どちらとも言えない 1人	いいえ 0人	わからない 0人	<p>入所する前にお話した本人の目標、こちらの希望をしっかりと組んで活動に取り入れてくれています。</p> <p>⇒今後も、主訴や保護者様の願いに基づき、具体的な支援内容、遊び、ホームワークの記載を行っていきます。</p>
	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個別支援計画書の内容を細分化し、支援を行っています。経過や進捗状況を日々の記録や話し合いで共有し、目標達成に向けて支援を実施しています。	はい 24人	どちらとも言えない 1人	いいえ 0人	わからない 0人	<p>その都度課題や療育での取り組みをおしえてもらっているので相違はないです。しっかりとれています。</p> <p>⇒今後も、個別支援計画書を基に目標達成に向け、一人ひとりに応じた支援の実施を行っていきます。</p>
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	チームでの情報共有を密にし、日々の記録の確認や前回担当者との引き継ぎを行い、個別支援計画書に沿って担当者が活動プログラムを立案しています。					

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供(続き)	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	個別、集団療育共に平日、休日、長期休暇に関わらず、決まった時間枠でサービス提供を行っています。利用日数は連続性や継続性を重視し、月に4日～5日以上をご提案しています。	はい 25人	どちらとも言えない 0人	いいえ 0人	わからない 0人	
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	利用児の得意なことや興味関心があることを活動に取り入れ、強みを活かした支援を実施しています。その中で成功体験を積み上げながら自信を持って、様々なことにチャレンジできるよう支援しています。					<p>毎回担当者が交代されていて、いろんな評価してもらえし、子どももいろんな人への関わりにより学びにもなっています。</p> <p>イライラしているときに臨機応変にプログラムを変えてくれているのは大変ありがたいと思っています。</p> <p>⇒引き続き、様々な指導員が多種多様なアプローチ法で、お子様自身の強みを活かした活動プログラムを提供していきます。</p>
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	交代で支援に入るため、全員で行う時間の確保が困難な時もありますが、できる時間を見つけ話し合いを行っています。文書や資料などでも共有を行っています。	/				
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	全指導員でのミーティング時間の確保は難しいため、管理者やその場にいる指導員に情報共有、話し合いを行っています。また全指導員が揃う朝礼で情報共有を行い、共通理解を図っています。	/				
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々の記録を必ず記入しています。指導員同士での支援の検証・改善を継続して行えるよう努めています。	/				
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	聞き取りシートを用いて、モニタリングを行っています。これを基にケース会議を実施し、個別支援計画書の見直し、作成を行っています。	/				
1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	全指導員でアセスメントした結果を持参し、児童発達支援管理責任者と最もふさわしい者が参画しています。	/					
2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当者がおりません。	/					
3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当者がおりません。	/					

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	該当者がおりません。 保護者様より要望があった際は、資料作成だけでなく、学校訪問または事業所に来訪いただくなど連携を行っています。				
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	該当者がおりません。 保護者様より要望があった際は、資料作成だけでなく、学校訪問または事業所に来訪いただくなど連携を行っています。				
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	今年度はできていません。				
	7	児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	はい 8人	どちらとも言えない 9人	いいえ 8人	わからない 0人	月に1回幼稚園の未就学児の活動に参加しています。 ⇒今後も交流の予定がありません。
8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	3月にUTグループ主催の地域イベント(広陵町にて)を開催予定です。					
	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	はい 25人	どちらとも言えない 0人	いいえ 0人	わからない 0人	少し複雑でわかりづらいのですが、毎回、丁寧に説明してくれます。 専門的な部分も丁寧に相談にのっていただいています。 休み希望の振替と5回目の追加の振替では予約の仕方が異なることを事前に説明していただきありがとうございました。(こちらからの休み希望の場合は15日以降に自分で予約しないといけない、追加予約の場合は月初めなどに先生から空いている日を伺って決めることができる) ⇒「WEB予約」「曜日固定枠」「追加予約」について、まとめて掲示していきます。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	はい 24人	どちらとも言えない 1人	いいえ 0人	わからない 0人	時間を取って丁寧な説明をしてくれました。 ⇒今後も作成時の説明だけでなく、現状や遂行度についてもお知らせしていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責任・連携支援	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	ペアレントトレーニングという形では行えていませんが勉強会と言う形で、ご自宅で行える工夫などアドバイスさせていただいています。 今年は、2月と7月に利用児対象イベントの際、同時に勉強会を開催いたします。年長児の保護者様を対象に就学前お話しも実施しています。 次年度は回数を増やして実施したいと考えています。	はい 9人	どちらとも言えない 12人	いいえ 4人	わからない 0人	講演会、勉強会は自分で調べて参加しています。家での親ができることなど、専門的な観点で教えてもらえ、自分たちでは気付かなかったことを気づかせてもらえとても為になっています。 家族支援プログラムとは何か？親に向けての研修のことなら、行われている。  ⇒来年度はアンケートを実施し、勉強会の内容を検討していきたいと考えています。
	4 子どもの発達状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	利用児の状況や強みを共有ができるように、支援終了後に時間を作っています。お悩みやご相談等があれば、「事業所内相談」を受付けております。	はい 22人	どちらとも言えない 3人	いいえ 0人	わからない 0人	毎回活動後に本人の様子や活動内容、こんな変化があったなど情報をしっかりと共有してくれます。先生とお話ししたくても療育の終わった子どもがじっとしてくれないので、ゆっくり話すのが難しく、先生からの話しも落ち着いて聞けないのが残念です。  ⇒短い時間での共有となるため、分かりやすい説明と家庭で気軽にできるホームプログラムなどを提案できるよう心掛けていきます。 事前にお声掛けいただくことで「事業所内相談」のご利用も可能です。ぜひご検討ください。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	利用児の状況や強みを共有ができるように、支援終了後に時間を作っています。お悩みやご相談等があれば、「事業所内相談」を受付けております。	はい 18人	どちらとも言えない 5人	いいえ 2人	わからない 0人	毎回活動後のその日の報告から、適度に時間を取ってこちらの聞きたいことなどしっかりフォローしてくれます。 常に相談にのっていただいていると思います。とても丁寧に説明して頂けたり、疑問に思う思ったことにも適切に答えてくれると思う。定期的な面談は設定されていない 普通に通うのみなら、面談や助言を受ける時間がない。  ⇒相談時は速やかにお返事できる心掛け、検討が必要な事案に関しては、次回の支援時にお応えできるよう努めていきます。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	新型コロナウイルス感染症が終息しつつあるため保護者研修勉強会は、再開しています。しかし、以前開催していたUTキッズ全体勉強会の開催はまだ、再開出来ていません。	はい 4人	どちらとも言えない 11人	いいえ 10人	わからない 0人	少人数な為、保護者同士の交流はほとんどないですが、数人の集団の場合は保護者みんなでスタッフの活動内容の報告を聞き、共有できています。  ⇒次年度は、保護者勉強会や茶話会などの実施も検討していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	契約の際、「重要事項説明書」にて苦情窓口の説明をしています。疑問点やご意見、ご相談があった際は、できる限り迅速な対応ができるよう心掛けています。	はい 14人	どちらとも言えない 11人	いいえ 0人	わからない 0人	苦情申し出たことがないためわかりません。そのような機会がまだないです 実際にそのようなケースに遭遇したことがないため判断が難しい。  ⇒苦情がないよう努めて支援を進めると共に、疑問点やご意見、ご相談があった際にできる限り迅速に対応できるよう努めていきます。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	利用児の特性やその日の様子に合わせてたり、視覚や聴覚情報を使用したりして分かりやすく伝達できるよう心掛けています。保護者様に対しては、手紙、電話連絡を行い、伝達漏れがないよう努めています。	はい 21人	どちらとも言えない 4人	いいえ 0人	わからない 0人	情報伝達は出来る範囲で行えていると思うが、特別な配慮がされているとは言い難い。  ⇒現在、掲示物の貼り出しや手紙、電話連絡でのお知らせとなっているため、今後より正確かつ迅速に情報をお伝えできるアプリやツールの利用を検討しています。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	事業所内でのイベント告知、予約案内、制度改定など情報の貼り出しやInstagramホームページでの活動紹介などを行っています。	はい 19人	どちらとも言えない 6人	いいえ 0人	わからない 0人	ホームページの確認をしていないのでわかりません。いつも情報提示はしてもらっています。年間でイベントの日が決まっているとありがたいです。年間が難しければ2ヶ月前だと確実に仕事のお休みが取れるので、可能であればもう少し早くお知らせしていただきたいです。  ⇒イベントなど年間で日程が決まっているスケジュールに関しては、掲示を行っていきます。それ以外のプチイベントなどは、日程が確定でき次第その都度お知らせをしていきます。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報ファイルの管理は鍵付きの棚に入れ、取り決めにに基づき使用しています。保護者様に個人情報同意書、撮影同意書に記入いただき、それに従い写真や動画の使用を行っています。	はい 24人	どちらとも言えない 1人	いいえ 0人	わからない 人	
非常時	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	療育室内に避難経路の貼り出し、各マニュアル配置、定期的に行っている指導員避難訓練の様子を掲示しています。	はい 24人	どちらとも言えない 0人	いいえ 1人	わからない 人	
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年に4回の定期訓練を実施と、必要に応じた不定期避難訓練を実施しています。	はい 19人	どちらとも言えない 5人	いいえ 1人	わからない 人	
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	毎年、事業部全体の安全管理委員会が主体となって、虐待防止研修を実施しています。事業所内でも話し合いを行い、適切な対応ができるよう努めています。	/				

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
時等の対応	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	契約時、「重要事項説明書」にて、説明を行っています。また、身体拘束と思われる事案の有無について、毎日確認をしています。やむを得ない状況が発生した際には、十分な説明と個別支援計画書への反映を行い、防止に努めています。				
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	食事の提供は行っていないため、実施していません。STや集団療育、イベント等で飲食を提供する場合は、保護者の方にアレルギー、提供食品の確認を行い、了承を得て提供しています。				
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	発生した場合は、報告書を作成して職員間で共有し、未然に防ぐ努力をしています。また、安全管理委員会により、各事業所のヒヤリハットを統計、データ化しています。				
	子どもは通所を楽しみにしているか	当事業所の理念である「その人がその人らしく暮らせるために」を実現すべく、子どもたちの強みややってみようとする気持ちを伸ばし、自尊心を高め、幅広い視点を養うことができるよう療育内容を工夫し提供できるよう努めています。また自分で考えて遊びができるようPDCAサイクルを用いて支援を行っています。	はい22人	どちらも言えない 3人	いいえ0人	わからない人	とても楽しく通っています。 毎回楽しみに通ってくれるので嬉しいです。 毎回行くのをすごく楽しみにしていて、帰る時とても満足してそうな表情をしています。 いつも楽しく通わせていただいています。 ありがとうございます。  ⇒「やってみたい!」「また行きたい!」気持ちを引き出すことができる活動プログラムを立案していきます。支援後の振り返りでは、保護者様との情報共有を大切にし、お子様の状況に合わせた支援を行います。
	事業所の支援に満足しているか	当事業所は、困り感の軽減のみを目的とせず、困り感に対し、見通し(困り感の背景を探る、支援方法を見つける)を持って活動できることを目的としています。 利用児一人ひとりのニーズに即した支援・強みを活かした支援ができる支援を提供できるよう邁進していきます。 また事業所内の支援だけでなく、運動や作業技術の習得や汎化を強化を目指し、ご家庭・園、学校等の環境支援も必要と考え、ホームプログラムの提案や保育所等訪問支援の実施も行っています。	はい25人	どちらも言えない 0人	いいえ0人	わからない人	とても満足しています  ⇒今後も指導員の知識向上に邁進し、ご利用者様と保護者様が安心して通所していただけるよう取り組みます。 一人ひとりの強みに注目した支援を行い、意欲や自信へつなげていきます。 ご家庭や園等で気軽に取り組めるホームプログラムの提案を行うことで、継続した運動や作業の習得・汎化を目指していきます。

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

回答率32%(25人/78人)

公表日: 令和6年3月1日

事業所名: リハビリ発達支援ルームUTキッズplus

サービス種類: 放課後等デイサービス

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	1人ひとり安心して活動できるスペースを確保し支援を行っています。	はい 27人	どちらとも言えない 1人	いいえ 0人	わからない 0人	<p>のびのび活動していると思います。複数の子供が違うことをする場合は、パーティション等で区切って入らないようにしてもらいたい。机の大きさがあってないです。</p> <p>⇒粗大運動を十分に楽しんでもらえるよう広いスペースを用意しています。また場所の交渉などやり取りや他者を意識して遊びができるよう仕切りを設けない設定にしています。作業課題などを行う場合は、別室やお一人での空き枠を利用していただくようにしています。</p> <p>集団療育では、大人用のテーブルになるため、椅子で高さを工夫しています。イベントでは、様々な高さの机を使用するため、参加されるお子様に合わせて環境設定ができるよう改善していきます。</p>
	2 職員の適切な配置	配置基準に従い、職員配置を行っています。	はい 24人	どちらとも言えない 4人	いいえ 0人	わからない 0人	<p>新しく入って来られた先生に不安を感じることもある。専門性や配置数は、こちらにはわからない。</p> <p>⇒事業所内外研修へ積極的に参加し、職員のスキルアップを強化していきます。</p>
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	療育室内は段差がありませんが、療育室まで階段を登って来ていただかないとまらない構造になっています。	はい 21人	どちらとも言えない 7人	いいえ 0人	わからない 0人	<p>我が子には関係ないが、誰もが使えるバリアフリーではない。トイレがバリアフリーでない。エレベーターがない。細かな段差があるので、バリアフリー化してもらったほうが嬉しい。階段が危ない。</p> <p>⇒エレベーターの設置が難しく、車椅子や足を怪我させている利用者様にはご不便をおかけします。療育室までの移動に関しましては、保護者様同意のもと、指導員と一緒に介助をさせていただき、移動が少しでもスムーズにできるよう工夫を行っていきます。</p>

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	活動に合わせて、利用児自身が設定できるよう広い空間を用意しています。療育室や遊具が玩具、教材は都度消毒を行い、清潔に使用できるよう心掛けています。	はい 24人	どちらとも言えない 3人	いいえ 1人	わからない 0人	療育室については整っていると思うが、子供を送迎する者(保護者)が療育中に待機する場所が狭い。土足のところを先生方が裸足で歩いて、そのまま療育室へ入っているの、清潔ではないと思う。中の様子はあまりわからない。 ⇒集団ご利用の保護者様の待合室が狭くなりご迷惑をおかけしております。相談などで使用していない時間などは1階、2階、3階の待合室を使って頂けるようご案内をさせていただくようにしていきます。 再度、指導員間で話し合いを行い、清潔な生活空間を提供できるよう努めます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	PDCAサイクル研修を行っています。利用児聞き取りシートを基にPDCAサイクル法を活用し問題解決や業務遂行に取り組んでいます。					
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現在実施しておりません。					
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	会社、キッズ事業部内での研修が定期的に関催されています。事業所内研修は不定期ではありますが開催しています。外部研修費補助制度があります。					
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	相談支援員との連携、サービス等利用計画の内容を把握し、家庭や学校の様子など保護者様にお聞きし、個別支援計画書の作成を行っています。	はい 24人	どちらとも言えない 1人	いいえ 0人	わからない 0人	子供の課題をしっかりと分析してもらえていると思う。どこまで出来ていて、どういうところが苦手なのか教えてもらえて、いつも助けていただいている。そして、学校の先生との悩みも聞いてもらっている。いつも寄り添っていただいております。とてもよく見ていただいております。 ⇒引き続き、利用者様と保護者様のニーズに則した計画の立案、作成を行っていきます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	利用者ニーズに応じた個別、集団療育の組み合わせを行い、個別支援計画書の作成を行っています。					
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	主訴や保護者様の願いに基づき個々の支援に必要な項目を設定し、具体的な支援内容や遊び、ホームワークなどを記載しています。					

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
			はい	どちらとも言えない	いいえ	わからない		
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個別支援計画書の内容を細分化し、支援を行っています。経過や進捗状況を日々の記録や話し合いで共有し、目標達成に向けて支援を実施しています。	はい 28人	どちらとも言えない 0人	いいえ 0人	わからない 0人	
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	チームでの情報共有を密にし、日々の記録の確認や前回担当者との引き継ぎを行い、個別支援計画書に沿って担当者が活動プログラムを立案しています。	/				
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	個別、集団療育共に平日、休日、長期休暇に関わらず、決まった時間枠でサービス提供を行っています。利用日数は連続性や継続性を重視し、月に4日～5日以上をご提案しています。	/				
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	利用児の得意なことや興味関心があることを活動に取り入れ、強みを活かした支援を実施しています。その中で成功体験を積み上げながら自信を持って、様々なことにチャレンジできるよう支援しています。	はい 24人	どちらとも言えない 4人	いいえ 0人	わからない 0人	<p>固定していると感じるところもあるが、子供が内容を決めているところがあるので、それで良いと思う。保護者へのフィードバックはあるが、療育中は入室できないので分からない。</p> <p>⇒活動プログラムを工夫しながら、成功体験を積み上げていくことができるよう支援を行っていきます。</p> <p>基本的に母子分離での支援を行っていますが、契約時のご説明の通り、事前にお声掛けいただけましたら、同室のご利用児様の保護者様ご了承のもと、見学をしていただくことが可能です。</p>
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	交代で支援に入るため、全員で行う時間の確保が困難な時もありますが、できる時間を見つけ話し合いを行っています。文書や資料などでも共有を行っています。	/				
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	全指導員でのミーティング時間の確保は難しいため、管理者やその場にいる指導員に情報共有、話し合いを行っています。また全指導員が揃う朝礼で情報共有を行い、共通理解を図っています。	/				
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々の記録を必ず記入しています。指導員同士での支援の検証・改善を継続して行えるよう努めています。	/				
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	聞き取りシートを用いて、モニタリングを行っています。これを基にケース会議を実施し、個別支援計画書の見直し、作成を行っています。	/				

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	全指導員でアセスメントした結果を持参し、児童発達支援管理責任者と最もふさわしい者が参画しています。					
	2 <b>(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)</b> 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当者がおりません。					
	3 <b>(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)</b> 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当者がおりません。					
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	該当者がおりません。 保護者様より要望があった際は、資料作成だけでなく、学校訪問または事業所に来訪いただくなど連携を行っています。					
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	該当者がおりません。 保護者様より要望があった際は、資料作成だけでなく、学校訪問または事業所に来訪いただくなど連携を行っています。					
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	今年度はできていません。					
	7 児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現在交流の機会は設けておりません。	はい 4人	どちらとも言えない 9人	いいえ 15人	わからない 0人	特に交流することを積極的に望んでない。 小学校で障害のない子と毎日生活しているので、それで良いと思う。合流を求めている為、必要ありません。  ⇒今後も交流の予定がありません。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	3月にUTグループ主催の地域イベント(広陵町にて)を開催予定です。					
1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	利用開始前に支援内容、負担額について説明しています。不明点があれば、お問い合わせ頂くようお願いしています。	はい 27人	どちらとも言えない 1人	いいえ 0人	わからない 0人		



区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	契約の際、「重要事項説明書」にて苦情窓口の説明をしています。疑問点やご意見、ご相談があった際は、できる限り迅速な対応ができるよう心掛けています。	はい 21人	どちらとも言えない 6人	いいえ 1人	わからない 0人	子供が療育中に怪我をした時の対応に納得していない。辛かった。  ⇒お怪我の際の対応が至らず、お子様と保護者様に辛い思いをお掛けしましたことお詫び申し上げます。怪我が起こらないよう尽力することはもちろんのこと事故マニュアルを作成し万が一怪我が起こった際には、迅速に対応できるよう改善に努めていきます。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	利用児の特性やその日の様子に合わせたり、視覚や聴覚情報を使用したりして分かりやすく伝達できるよう心掛けています。保護者様に対しては、手紙、電話連絡を行い、伝達漏れがないよう努めています。	はい 27人	どちらとも言えない 1人	いいえ 0人	わからない 0人	
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	事業所内でのイベント告知、予約案内、制度改定など情報の貼り出しやInstagramホームページでの活動紹介などを行っています。	はい 22人	どちらとも言えない 6人	いいえ 0人	わからない 0人	
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報ファイルの管理は鍵付きの棚に入れ、取り決めにに基づき使用しています。保護者様に個人情報同意書、撮影同意書に記入いただき、それに従い写真や動画の使用を行っています。	はい 28人	どちらとも言えない 0人	いいえ 0人	わからない 0人	
非常時	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	療育室内に避難経路の貼り出し、各マニュアル配置、定期的に行っている指導員避難訓練の様子を掲示しています。	はい 25人	どちらとも言えない 3人	いいえ 0人	わからない 0人	
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年に4回の定期訓練を実施と、必要に応じた不定期避難訓練を実施しています。	はい 24人	どちらとも言えない 3人	いいえ 1人	わからない 0人	行っているときには無いので分かりません。  ⇒指導員のみでの避難訓練が多いため、今後は集団療育の利用者様と一緒にいる避難訓練も実施していく予定です。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	毎年、事業部全体の安全管理委員会が主体となって、虐待防止研修を実施しています。事業所内でも話し合いを行い、適切な対応ができるよう努めています。	/				

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
同等の対応	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	契約時、「重要事項説明書」にて、説明を行っています。また、身体拘束と思われる事案の有無について、毎日確認をしています。やむを得ない状況が発生した際には、十分な説明と個別支援計画書への反映を行い、防止に努めています。	/				
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	食事の提供は行っていないため、実施していません。STや集団療育、イベント等で飲食を提供する場合は、保護者の方にアレルギー、提供食品の確認を行い、了承を得て提供しています。	/				
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	発生した場合は、報告書を作成して職員間で共有し、未然に防ぐ努力をしています。また、安全管理委員会により、各事業所のヒヤリハットを統計、データ化しています。	/				
	子どもは通所を楽しみにしているか	当事業所の理念である「その人がその人らしく暮らせるために」を実現すべく、子どもたちの強みややってみようとする気持ちを伸ばし、自尊心を高め、幅広い視点を養うことができるよう療育内容を工夫し提供できるよう努めています。また自分で考えて遊びができるようPDCAサイクルを用いて支援を行っています。	はい 28人	どちらとも言えない 0人	いいえ 0人	わからない 0人	楽しみにしている。 中学でも通いたいと思っている。  ⇒「やってみたい!」「また行きたい!」気持ちを引き出すことができる活動や少し頑張れば達成できるプログラムを立案し強みを育む支援を実施します。支援後の振り返りでは、保護者様との情報共有を大切に、お子様の状況に合わせた支援を行っていきます。
	事業所の支援に満足しているか	当事業所は、困り感の軽減のみを目的とせず、困り感に対し、見通し(困り感の背景を探る、支援方法を見つける)を持って活動できることを目的としています。利用児一人ひとりのニーズに即した支援・強みを活かした支援ができる支援を提供できるよう邁進していきます。また事業所内の支援だけでなく、運動や作業技術の習得や汎化を強化を目指し、ご家庭・園、学校等の環境支援も必要と考え、ホームプログラムの提案や保育所等訪問支援の実施も行っています。	はい 28人	どちらとも言えない 0人	いいえ 0人	わからない 0人	本当にUTキッズさんと出会えて良かったと思います。 いつもありがとうございます。  ⇒今後も指導員の知識向上に邁進し、ご利用者様と保護者様が安心して通所していただけるよう取り組みます。一人ひとりの強みに注目した支援を行い、意欲や自信へつなげていきます。ご家庭や園等で気軽に取り組めるホームプログラムの提案を行うことで、継続した運動や作業の習得・汎化を目指していきます。